



令和8年度
学校だより

Attractive Azuma
つなが

吾妻学園
つくば市立吾妻中学校
第21号
発行日 R8. 8. 3

夏休みを成長のチャンスに 先生たちも学んでいます！

「夏休みは先生も休みでいいね」とよく言われますが、もちろん休んでいるわけではありません。普段は出張や研修が少ない分、夏休みは出張等がかなり多く、学校内外で多くの研修に参加して学び続ける毎日です。〔部活動は土日の練習がなく(※)、その点では、ゆとりがあります。※大会・練習試合は除く〕

さて、先生方の学びについてご紹介します。
7月28日(火)午後、第2回の吾妻学園研修会をコリドイオ(ノバホール隣)で行いました。この研修は吾妻小・中学校の教員が一堂に会し、教育目標「一人残らず幸せになれる学校の実現」に向け、小中一貫の教育活動を推進するために

に行いました。今回も前回に続き、授業に関する研修です。テーマは今、国や県、市が推進している「探究」です。さて「探究」とは何でしょうか。これは、学び方(学習方法)の一つです(以下)。

「探究」とは、実社会や実生活の中から問いを見だし(※)、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する学習活動のこと(文部科学省) ※高校段階では「実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし」

典型的なものは、いわゆる総合(つくばスタイル科)、「総合的な学習の時間」の授業での学び方です。(現在、高校では「総合的な探究の時間」の名称へ、令和4年から変わっています。)

今回は、つくばスタイル科でない教科の授業の中に、「探究」そのものでなく、探究の要素を取り入れた授業をつくれないうか、その検討です。

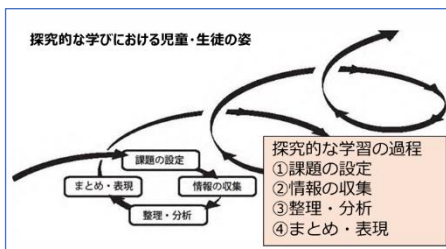
そこで、今回、国際バカロレア(※)の研究をされている講師の先生に、探究の要素を取り入れた学習(探究的な学び)について講義を受けました。その後、教科ごとのグループに分かれ、相談しながら「探究的な学び」の授業デザインを各自が構想しました。つくばスタイル科でない教科の授業に「探究」を取り入れることは難しいものがありますが、今後、少しずつチャレンジしてまいります。

研修の最後、校長より、そもそもなぜ「探究」が必要なのか、以下の3点について話がありました。

1. 知識を使えるようにする(知っているだけでなく、知識や技能の活用へ：学校教育法)
2. 主体的な学びになる(自分事の学びに。【「教え」から「学び」へ】：つくば市教育大綱)
3. 学習者(生徒)が意味を構築するための「余白」を設計できる(「余白」は子供の深い学びのためにある。また、教員が子供一人一人の学びの事実を見取るための余白にもなる。一斉に教える授業では、35人の学びは見えにくい。)

探究が必要な理由は一般に「これからの不確実で正解のない社会で生きるための『問い続ける力』を育てるため」「知識よりも『学びのプロセス』を重視する教育へ転換するため」「社会課題と自己の生き方を結びつけて考える力を育てるため」とされています。

「国際バカロレア(IB)」は、国際的な視野と主体的な学びを重視した教育プログラムで、世界共通の大学入学資格を提供する制度。グローバル人材育成のため、海外の大学進学を目指す高校等で導入されており、その特徴の一つが「探究」の学び。



あづま
掲示板

【制服を失くした子、いませんか？ 落とし物、お問合せください】
Did someone lose their uniform? Please check with the lost-and-found.

中学生の落とし物は(小学生に比べると)少ないですが、すべての落とし物が持ち主に戻るよう、スクリーン配信(7/16)をしました。特に制服や鍵は大変お困りのことと思います。その後、さらに制服のズボンとベルト、ジャージの上着、水筒も届いています。お問い合わせ下さい。